

生活介護

生活介護事業 定員 20 名

平成 27 年 4 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日までの利用

活動日数 246 日 利用日数 5309 日 一日平均利用者数 21.58 人

従業員数

管理者	1 名	サービス管理責任者	1 名
生活支援員	15 名	(男性 9 名 女性 6 名)	
看護職員	1 名		

利用者数 (定員 20 名)

身体障害者	17 名 (車いす 17 台)
知的障害者	8 名
重複障害	6 名 計 25 名 (2015 年 4 月 1 日落穂より 1 名異動)

【運営報告】

・私たちの事業所における生活介護は世に言うディサービスの要素はなくどんなに重度の障害があっても障害に合わせた仕事を行い、芸術活動を行い、街頭販売に行き、自分の力で給料を手にする事を大きな目的としています。そして、それこそが何よりもの自立だとの信念を元に日々生活しています。

・私達スタッフは利用者の自立を助け、安定した生活が送れるよう努力しています。

◦利用者を『自立を目指す大人』として認め、「言葉づかい」「態度」に利用者もスタッフも気を付けています。

・ 6 ヶ月に一回の個別支援計画

・ カウンセリングルーム「ひまわり」を利用した。利用者、スタッフへのカウンセリング

・ 午前・午後の体操

・ バイタルチェック (血圧・体温・様子観察)

・ 毎週火曜日のスタッフミーティング

・ 月 2 回の理学療法士によるリハビリ

・ 月 1 回の医師による診察

などを行い、利用者の健康と心の安定に重きを置き、きめ細かい介護を目指しています。

・ 私たち生活介護はともすれば平凡な日常になりがちなか中、街頭販売は寒い冬の日も暑い夏の日も何十年と変わらずお客様の笑顔とスタッフの心遣いに支えられ、素晴らしい成果を上げ、現実には利用者の給料も上がっています。

利用者やスタッフの負担に今後にならないよう柔軟な姿勢と心を持って続けていきます。

・事業所での四季折々の各種行事、生活介護独自の外出（今年度は木下大サーカス）、月一回の手作り食事会（カレー・バラ寿司・牛井など）など体と心が豊かになるように気配りしています。

【課題】

・現在 25 名の利用者が 2016 年 4 月から 27 名になります。身体障害ばかりでなく、内部疾患や発達障害・多動の方もおられます。これまで以上にスタッフの勉強や努力が必要です。

・人数が多いため、自己空間が少なく、少しの事でイライラしたり、大声を出される時もあります。心の安定を図り、安全を確保するためにもスタッフの柔軟な姿勢と心が必要です。

【2016 年度 行事報告】

- 4 月 入所式（早野氏生活介護へ）
- 5 月 企業ボランティア
天王寺キューズモール・動物園 100 周年
- 8 月 スイカ割り
夏のキャンプ
- 10 月 スポーツ大会
- 12 月 餅つき大会
グローリークリスマス
- 1 月 大同生命カレンダー 売上贈呈式
- 3 月 ドーンセンター絵画展（山下氏・河井氏 努力賞受賞）
木下大サーカス